

「グローバル人材育成研究会」第14回ご報告

2005年10月12日(水) 14時30分～17時

【Trend in Management of Technology 技術経営の動向】

～米国の大学院との教育プログラムの共同開発、客員研究員プログラムについて～

Dr. John Grasso

Director of Strategic Development and Distance Education,
Institute For Software Research International,
School of Computer Science
カーネギーメロン大学 (Carnegie Mellon University)



布留川 勝

- * グローバル・エデュケーション代表取締役
- * カーネギーメロン大学 ISRI Japan Program Director

10月12日(水)にカーネギーメロン大学(CMU)のISRI (Institute for Software Research International)のDr. John Grassoを招いての研究会を開催致しました。

急なご案内でしたが多くの方にご参加頂き、ここに改めて感謝申し上げます。今回の研究会では、5年ぶりの来日となりましたDr. John Grassoより、テクノロジーマネジメントのトレンド、テクノロジーマネジメントに対するCMUの取り組み、そして北米、韓国、中国における企業とのカスタムプログラムの事例をお話し頂きました。質疑応答は、約1時間にわたる非常に熱心な会となりました。特に、韓国企業などとのカスタムプログラムの事例は、国策にまで関連するスケールの大きなものであり、多くの参加者の関心を集めました。

セミナー後のアンケートでも、「大学で展開されている人材開発、産学連携について生のお話が聞け、興味深いものでした」「アメリカの企業において、大学が果たす役割が大きいことが興味深かった」といったお声を多数頂きました。

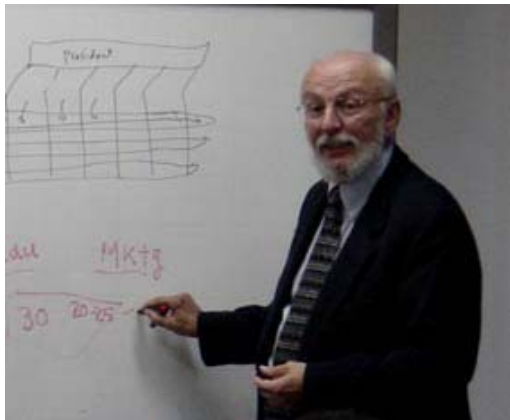
昨今、携帯電話、家電、自動車など、様々な企業で組み込み型ソフトウェアの重要性が高まりつつあります。同時にそれらソフトウェアにおけるバグの問題、エンジニアの質、開発プロセスの改善の話題が多く挙がるようになりました。場合によっては企業のグローバル戦略を大きく左右する問題ですが、ソフトウェアエンジニアリングにおいて、全米でも非常に高いレベルにあるCMUのリソースは多いにご活用頂けるのではと考えております。

また、企業との共同開発プログラムの他に、CMUでは、1年間の客員研究員プログラム、全米唯一のソフトウェアエンジニアリングの修士プログラム(MSE)や、CMMトレーニングプログラムなど、数多くのプログラムを展開しています。日本では、私、布留川がCMU ISRI Japan の Program Director として、CMUとの各種プログラムをコーディネートしております。是非お問い合わせ下さい。



(上・右上) Dr. John Grasso
(右) Master of Software Engineering

The MSE Program



Software and Systems Engineering



Carnegie Mellon University is rated #1 in published research in software & systems engineering
 • #1 for 5th consecutive year
 • See R.L. Glass & T.Y. Chen, Journal of Systems and Software, Volume 75, Issue 1, April 2005, Pages 91-97.

(左上) Dr. John Grasso
(上) 熱心な受講者の皆様
(左) CMUキャンパスの様子

カーネギーメロン大学(CMU)とは？

米国ペンシルバニア州ピッツバーグにある総合大学。鉄鋼王アンドリュー・カーネギーが1900年に設立したカーネギー工業学校 (Carnegie Technical Schools) が母体。カーネギーメロン大学はコンピューターサイエンスやインフォメーションシステムにおいてはアメリカでもトップクラスであり、ランキングでも常にトップ上位をしめている。特にJAVAを開発した大学としても有名であり、米国国防総省の要請によって開発されたCMM(Capability Maturity Model: 能力成熟度モデル)が米国政府だけでなく、世界のトップ企業より注目を集めている、まさに技術系幹部候補に最適な大学。

CMM(Capability Maturity Model)とは？

米カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所 (SEI) が開発したソフト開発の能力成熟度を測定する品質管理基準。開発プロセスを改善していないレベル1から、管理が最も行き届いている最高位のレベル5まで全5段階に分かれている。現在ではソフト開発能力を測る世界的な基準として世界各国で採用されている。レベル3以上が標準化されたソフトウェア開発プロセスを持つレベルとされている。しかし、レベル3以上に到達することは極めて難しいといわれており、世界でも取得企業は限られている。

講演者

Dr. John Grasso

Director of Strategic Development and Distance Education,
Institute For Software Research International,
School of Computer Science
カーネギーメロン大学

- 【セミナー概要】 (セミナープログラム)
14:10 開 場
- 14:30 【Trend in Management of Technology 技術経営の動向】
～米国の大学院との教育プログラムの共同開発、客員研究員プログラムについて～
(英 日逐次通訳有)
< 講師: Dr. John Grasso,
Director of Strategic Development and Distance Education,
Institute For Software Research International,
School of Computer Science カーネギーメロン大学 >
- 16:45 質疑応答
- 17:00 セミナー終了

- 【主 催】 KAIセミナーサポートセンター、
グローバル・エデュケーションアンドトレーニング・コンサルタンツ (株)
- 【会 場】 日本リージャス 神谷町MTビル 14F 会議室
(最寄駅: 日比谷線神谷町駅より地下道直通) 地図は[こちら](#)から
- 【対 象】 人材育成・能力開発担当者
- 【定 員】 30名

資料お問い合わせはこちらまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】

* Eメール info@globaledu-j.com

担当 グローバル・エデュケーション 近藤